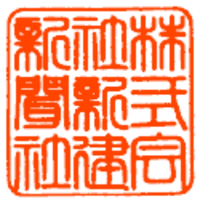
20２５年１０月吉日

（一社）長野県測量設計業協会　御中



建設メディア事業部　担当／伊藤

長野県長野市南県町686-8

**TEL026-234-111９**

**新建新聞社オンラインセミナー第５８弾**

**建設ミライセミナーインフラメンテナンス最前線**～予防保全・省力省人化！新技術の活用でメンテナンスを更に前へ～

**ご共催および共催名義の使用についてのご依頼**

拝啓　平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、長野県内で建設専門紙を発行する「新建新聞社」は、20２５年１０月３０日に建設関連産業の技術者を対象としたオンラインセミナー『建設ミライセミナーインフラメンテナンス最前線』を開催する予定です。本セミナーでは、各分野の第一人者より、最新の技術や事例について発表いただきます。土木技術者に現場知識を身に着け、事例について学べる内容をお届けしたいと考えております。

つきましては、本セミナーの開催趣旨をご理解賜り、ご共催を賜りたくお願い申し上げます。

セミナーの詳細については、下記の内容をご高覧いただき、ご検討のほど重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

■開催日／オンライン　２０２５年１０月３０日　木曜日　１３：0０～１７：００

■開催場所／オンラインセミナー（ZOOM Workplace）

■参加費／①聴講料：無料

　　　②継続学習制度【CPDSユニット/設計CPD単位】希望者：申請代行手数料：６，６００円

■定員／３００人を予定　開催2日前１７時締め切り　■申込み：弊社WEBページより申込み

■対象者／建設関連企業の技術者など　■研修レベル　初・中級

■目的／新技術の情報共有　技術者の研鑽と資質向上

■主催・共催／主催：新建新聞社　共催：（一社）長野県測量設計業協会

■後援／一般社団法人全国建設業協会

■依頼事項／本セミナーへのご共催と名義使用について

申請者　株式会社新建新聞社　セミナー事務局　伊藤尚史

長野県長野市南県町686-8

TEL : 026-234-1119 / FAX : 026-235-8386

Email: [seminar@shinkenpress.co.jp](mailto:seminar@shinkenpress.co.jp)

（添付資料）

**新建新聞社オンラインセミナー第５８弾**

**建設ミライセミナーインフラメンテナンス最前線**

**～予防保全・省力省人化！新技術の活用でメンテナンスを更に前へ～**

高度経済成長期に整備されたインフラのうち、2040年には道路橋の７５％、トンネルの５３％、港湾施設の６６％が建設後５０年を迎えます。これらのメンテナンスを進める中で課題となるのが、担い手不足やコストとなります。その解決のカギがデジタル技術やロボティクスを活用した現場の省力省人化と、早期に点検し対策を進める「予防保全」となります。当セミナーでは、これら技術の最前線について各分野の第一人者より現場実例を交えて紹介と解説を頂きます。続々と登場する技術革新の最新事例をぜひ御覧ください。

■開催日／オンライン　２０２５年１０月３０日　木曜日　１３：0０～１７：００

■開催場所／オンラインセミナー（ZOOM Workplace）

■参加費／①聴講料：無料

　　　②継続学習制度【CPDSユニット/設計CPD単位】希望者：申請代行手数料：６，６００円

■定員／３００人を予定　開催2日前１７時締め切り　■申込み：弊社WEBページより申込み

■対象者／建設関連企業の技術者など　■研修レベル　初・中級

■目的／新技術の情報共有　技術者の研鑽と資質向上

■主催・共催／主催：新建新聞社　共催：（一社）長野県測量設計業協会

■後援／一般社団法人全国建設業協会

講師・スケジュール  
新建新聞社より

開会・事務局からのご案内　１３：００～１３：１０

Session 1　13：10～14：20

　『道路構造物点検のロボット化最新技術「レーザー打音」の紹介』

株式会社フォトラボ　代表取締役社長 木暮　繁氏

次期点検要領改訂（2024/3と想定）で注目されている近接目視・打音検査のロボット化最新技術である「レーザー打音」の製品化状況を解説します。この装置は国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」で理化学研究所チームが研究し、フォトンラボが製品化。国交省の技術カタログ（トンネル・橋梁）に掲載されています。

Session 2-1　14:30～15:05

『地上・地下インフラ3Dマップ®・ちかデジ®によるインフラメンテナンス・更新事業の生産性向上』

ジオ・サーチ株式会社　執行役員　新規事業開発室長 神代　晃治氏

自然災害の激化とインフラ老朽化が進む中、地下インフラのメンテナンス・更新は急務で、正確な地下情報の把握とDXによる生産性向上・省力化が課題となっています。解決手段として、地中レーダによる埋設物探査技術「地上・地下インフラ3Dマップ」、スマートフォン活用した写真測量技術「ちかデジ」について紹介します。

Session2-2　15:05～15:40

『アップコン工法による道路陥没防止（ウレタン注入）』

アップコン株式会社　営業部　部長 漆原　孝成氏

ウレタン注入による地中・路盤内の空洞にウレタンを注入し道路の陥没を防止する工法の紹介。開削を必要とせず、短工期で対策が可能。事例を交えて工法概要を紹介する。

Session 3　15:50～17:00

『コンクリートの劣化機構と補修工法』

一般社団法人コンクリートメンテナンス協会　専務理事/技術委員長 江良　和徳氏

コンクリート構造物を適切に維持管理するには、劣化機構の理解が不可欠です。本講演では、塩害・中性化・アルカリシリカ反応（ASR）など代表的な劣化現象の原因と進行メカニズムを整理し、それぞれの劣化に応じた補修工法の概要やその選定ポイントなどについて、実務に役立つ視点から解説します。

◯受講者の皆様へのお願い

【継続学習制度の受講証明について】

■CPDSのオンラインでの認定について：開始時、途中、終了時に、受講者の顔と受講番号が写った画面のスクリーンショットを撮影するほか、申込み時にCPDSユニット取得の希望を募り、リスト化する。事後セミナー事務局にて所属、氏名、番号の入ったリストとスクリーンショットを提出する。ユニットの申請は事務局が一括にて行う。

■設計CPDのオンラインでの認定について：申込時にCPDの単位取得の希望を募り、リスト化する。受講者は受講後３営業日までを期限にアンケート内にセッションごと設けられたレポート（学びや気付きなどについて200字目安）を記載し、提出する。事後セミナー事務局にて、所属、氏名の入ったリストと、受講者に送付した領収書の控え、アンケートの回答を提出する。その上で受講証明書を受講者に発行する。

※条件を全て充たさない場合は、CPD受講証明書の発行はできません。

■継続単位制度の利用について：当セミナーでは、CPDSと設計CPDは重複して申請できません。

問い合わせ先

株式会社新建新聞社　セミナー事務局

長野県長野市南県町686-8

TEL : 026-234-1119 / FAX : 026-235-8386

Email: seminar@shinkenpress.co.jp